５．都市施設

5-01　都市施設の位置、内容等
5-02　道路の状況

調査項目：5-01　都市施設の位置・内容等（道路公園等）

■調査目的　　都市計画施設等の決定
状況、内容、事業の進捗状況等をまとめ、今後の都市計画施設立案の指針とする。

■収集方法

【ａ収集項目】　都市計画決定年月日、都市施設名称、進捗状況、事業期間

【ｂ収集範囲】　都市計画区域

【ｃ収集単位】　都市計画施設毎

【ｄ収集方法】　・都市計画図書、都市計画総括図（都市施設）、庁内資料等から収集。

収集データの例
都市計画図書
都市計画総括図（都市施設）
庁内資料等（都市施設に関する図面等）

【ｅ留意事項】　・都市計画法第 11 条第１項第１号～15 号に定めるものを対象とする（第３号に定める下水道を除く）。

■作成項目

【ｆ原典リスト】

項目	原典データ	年次	入手先
・複数の原典データを元に作成している場合は項目ごとに分けて記載。 ・一括して同じ場合は「－」を記載。	・都市計画図書、都市計画総括図（都市施設）、庁内資料等の資料名を記載	最新年を記載	※適宜記載

※複数の原典データを元に作成している場合は行を追加する。
※原典データの入手先が URL の場合はその URL を記載。

【ｇ調書】

＜調書＞
・区間・区域別に事業化されているものは、区間、区域別の事業期間を記入し、備考欄に区間区域を記入する。

（○○市（基準日：○○年○○月○○日現在））

決定年月日※1	都市施設名称	進捗状況計画	進捗状況事業中	過年度末までの事業費	総事業費	進捗状況、整備済※2	事業開始年月日※3	事業完了年月日	備考
・・							～		
・・									

※１ 当初の決定年月日、都市計画の変更を行った場合は変更した年月日について、古い順に記入する。都市計画の変更を行った場合、その目的について備考欄に記入する。
※２ 整備済には、以下の改良済・概成済の延長等を含んで記載する。
　　改良済：用地が計画のとおり確保されており、供用している。
　　概成済：改良済以外の区間のうち、都市計画施設と同程度の機能している。
※３ 左側に事業開始年月日、右側に事業完了年月日を記入。現在事業中のものは事業期間を記入する。事業に着手されていないものは記入しない。また、計画決定時にすでに完成しているものについては、事業期間は記入せずその旨を備考欄に記入する。また、認可を受けていないものについてはその旨を備考欄に記入する。
※４　進捗状況、事業費など、情報把握が困難な場合は空欄とする。

【ｈ位置図】

・都市施設の整備状況図は、下記の凡例に従うこととする。

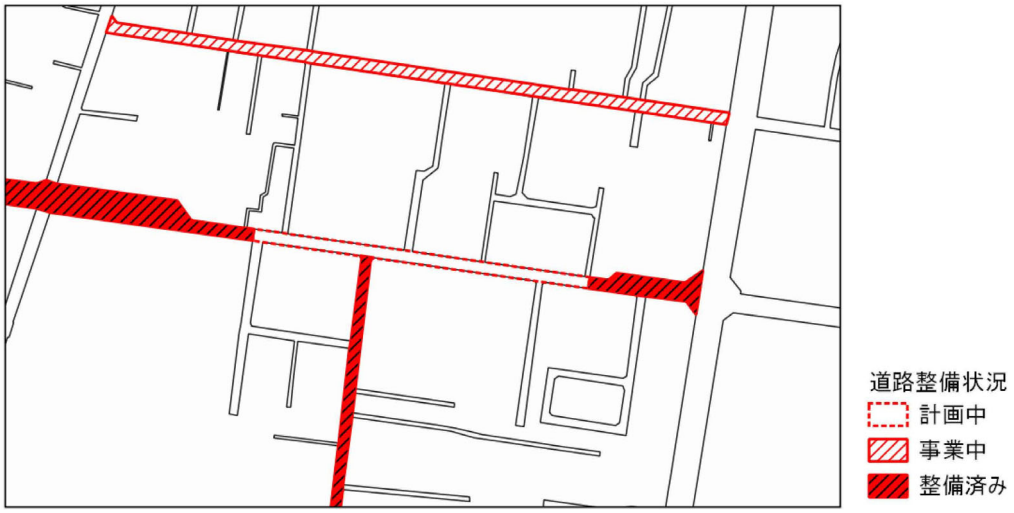
＜凡例＞

都市施設	面色指定（RGB）	縁・線 色指定（RGB）		パターン（RGB）	
・道路					
計画中	255,255,255	細破線	255,0,0		
事業中	255,255,255	細実線	255,0,0		
整備済み	255,0,0	細実線	255,0,0	ハッチ	0,0,0
・都市高速鉄道	255,153,255	細実線	0,0,0		
・自動車ターミナル	205,205,205	細実線	0,0,0		
・駐車場	255,255,255	細実線	0,0,0	縦線	0,0,0
・公園、緑地、墓園					
計画中	255,255,255	細破線	102,255,102		
事業中	255,255,255	細実線	102,255,102		
整備済み	102,255,102	細実線	102,255.102	塗りつぶし	
・ごみ焼却場、市場、火葬場	255,255,255	細実線	255,153,102	ひし形	255,153,102
・一団地の住宅施設	255,255,255	細実線	204,51,153	ドット	204,51,153
・流通業務団地	255,255,255	細実線	0,112,192	ハッチ	0,112,192
・その他都市施設	80,80,80	細実線	255,153,102	ひし形	255,153,102

＜整備状況図（都市計画道路の例）＞

・都市施設の位置等を地図に表示する（作成イメージは下図を参照）。

（○○市（基準日：○○年○○月○○日現在））



【ｉ集計表】　　－

（下水道）

■調査目的　　重要な生活基盤である排水処理施設（下水道等）の計画区域、整備区域等を整理し、その普及状況を把握する。

■収集方法

【ａ収集項目】　都市計画決定年月日、都市施設名称、進捗状況、事業期間

【ｂ収集範囲】　都市計画区域

【ｃ収集単位】　都市計画施設毎

【ｄ収集方法】　・都市計画図書、都市計画総括図（都市施設）、庁内資料等から収集。

収集データの例
都市計画図書
都市計画総括図（都市施設）
庁内資料等（都市施設に関する図面等）

【ｅ留意事項】　・都市計画法第 11 条第１項第３号に定める下水道を対象とする。

■作成項目

【ｆ原典リスト】

項目	原典データ	年次	入手先
・複数の原典データを元に作成している場合は項目ごとに分けて記載。 ・一括して同じ場合は「－」を記載。	・都市計画図書、都市計画総括図（都市施設）、庁内資料等の資料名を記載	最新年を記載	※適宜記載

※複数の原典データを元に作成している場合は行を追加する。
※原典データの入手先が URL の場合はその URL を記載。

【ｇ調書】

＜調書＞

・区間・区域別に事業化されているものは、区間、区域別の事業期間を記入し、備考欄に区間区域を記入する。

（○○市（基準日：○○年○○月○○日現在））

決定年月日※1	都市施設名称	進捗状況計画	進捗状況事業中	過年度末までの事業費	総事業費	進捗状況、整備済※2	事業開始年月日※3	事業完了年月日	備考
・・							～		
・・									

※１ 当初の決定年月日、都市計画の変更を行った場合は変更した年月日について、古い順に記入する。都市計画の変更を行った場合、その目的について備考欄に記入する。

※２ 整備済には、以下の改良済・概成済の延長等を含んで記載する。
　　改良済：用地が計画のとおり確保されており、供用している。
　　概成済：改良済以外の区間のうち、都市計画施設と同程度の機能している。

※３ 左側に事業開始年月日、右側に事業完了年月日を記入。現在事業中のものは事業期間を記入する。事業に着手されていないものは記入しない。また、計画決定時にすでに完成しているものについては、事業期間は記入せずその旨を備考欄に記入する。また、認可を受けていないものについてはその旨を備考欄に記入する。

※４　進捗状況、事業費など、情報把握が困難な場合は空欄とする。

【ｈ位置図】

・都市施設の整備状況図は、下記の凡例に従うこととする。

＜凡例（つづき）＞

都市施設	面色指定（RGB）		縁・線 色指定（RGB）		パターン（RGB）
・下水道					
雨水管渠		なし	→	91,155,213	太線・矢印
汚水管渠		なし	→	204,153,0	太線・矢印
合流管渠		なし	→	0,0,0	太線・矢印
排水区域		255,255,255	細破線	247,150,70	
下水処理場		255,255,154	細実線	247,150,70	
ポンプ場		255,153,153	細実線	247,150,70	
都市下水路		なし	→	255,192,0	太線・矢印

【ｉ集計表】　　－

調査項目：5-02　道路の状況

■調査目的　　道路の幅員を調査し、都市防災上の現況把握、道路網整備等の基礎資料とする。

■収集方法

【ａ収集項目】　位置、幅員

【ｂ収集範囲】　都市計画区域

【ｃ収集単位】　道路毎

【ｄ収集方法】　・国や都道府県、市町村の道路台帳、デジタル道路地図、ベクトルタイルデータ（道路中心線：国土地理院が試験公開中で無償にてダウンロード可能）から収集。

収集データの例
国土地理院ベクトルタイル提供実験／地図情報（道路中心線）（2015～） https://github.com/gsi-cyberjapan/vector-tile-experiment　(URL❶)
道路台帳（国・都道府県・市町村）
デジタル道路地図 https://www.drm.jp/より申請または購入が必要

【ｅ留意事項】　－

■作成項目

【ｆ原典リスト】

項目	原典データ	年次	入手先
・複数の原典データを元に作成している場合は項目ごとに分けて記載。 ・一括して同じ場合は「－」を記載。	・ベクトルタイルデータ、道路台帳、デジタル道路地図等の資料名を記載	最新年を記載	※適宜記載

※複数の原典データを元に作成している場合は行を追加する。
※原典データの入手先がURLの場合はd.収集方法の「収集データの例」のURLを参照。

【ｇ調書】

＜調書＞

（○○市（基準日：○○年○○月○○日現在））

整備 データ登録日	暫定 フラグ	道路 分類	幅員 区分	有料 区分	分離帯 区分	自動車 専用道路
			下表による			
・・・						

・幅員の区分については、延焼遮断、下表により設定する。

幅員区分	コード	備考
15m以上	1	木防建ぺい率の判定に用いる
6m以上15m未満	2	不燃領域率の判定に用いる
4m以上6m未満	3	－
4m未満	4	接道不良の判定に用いる

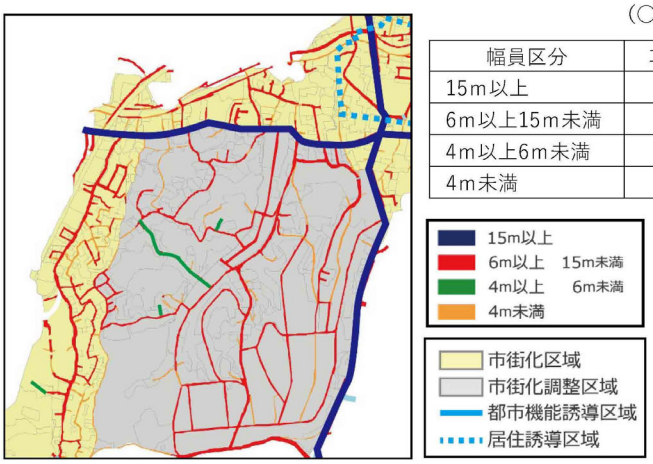
※デジタル道路地図、ベクトルタイルデータを用いる場合、4m,6m,15mをそれぞれ3.5m,5.5m,13mで代替することも考えられる。

【ｈ位置図】

＜道路現況図＞

・道路の状況を地図に表示する（作成イメージは下図を参照）。

（○○市（基準日：○○年○○月○○日現在））



幅員区分	コード	線	線の色	線の太さ
15m以上	1		30,43,99	4pt
6m以上15m未満	2		255,0,0	2pt
4m以上6m未満	3		0,255,0	1.5pt
4m未満	4		244,150,50	1pt

【ｉ集計表】

＜集計表＞

・都市計画区域（市街化区域、市街化調整区域、非線引き用途地域、非線引き用途白地）、準都市計画区域、居住誘導区域、都市機能誘導区域等の別に幅員区分別延長を集計する。

（○○市（基準日：○○年○○月○○日現在））

区域区分	15m以上（m）	6m以上15m未満（m）	4m以上6m未満（m）	4m未満（m）	不明（m）
都市計画区域					
市街化区域					
市街化調整区域					
非線引き用途地域					
非線引き用途白地					
準都市計画区域					
居住誘導区域					
都市機能誘導区域					

※区域区分の有無により、市街化区域及び市街化調整区域、非線引き用途地域及び非線引き用途白地のうち、必要な区域を記載する。

※立地適正化計画の各区域は立地適正化計画が策定されている場合。

＜コードリスト＞

・集計表の各項目のコードは下表のとおりとする。

コード	説明
1	15m以上
2	6m以上15m未満
3	4m以上6m未満
4	4m未満